



津野直子様長い間本当にありがとうございました



津野さんに
直撃インタビュー!!

この度、特定非営利活動法人ドロップインセンター開設当初より当法人を支えて下さった常務理事の津野直子氏が、ご退任されることとなりました。長きに渡りご尽力を頂き、またいつも絶えず温かいご指導を賜りましたことを、心より感謝申し上げます。

Q. ドロップインセンターを立ち上げられたきっかけや出会いなどを教えてください。

A. NPO法人みやざき子ども文化センターから子育て支援に特化した団体を立ち上げ独立することになった時、初代代表の原田さんに声をかけていただいて、事務局長をすることになりました。

設立当初はカーノー7階にあった子育てひろば「こどもらんど」の運営や講座・研修と子育て家族向けのイベントが主な事業で、今のように事業規模が大きくなかったため、あまり深く考えずに事務局長を引き受けました。

Q. ドロップインセンター立ち上げから現在まで活動をされてきて、良かったことや大変だったことを教えてください。

A. 経理や事務など事務局の仕事に関して、ずぶの素人だったので知らないこと、分からないことばかりでしたが、色々な方に支えられて、法人とは何かから始まって、雇用や社会保険など世の中の決まりごとや仕組みを学ぶことができました。

また色々な研修や講座を受講する機会に恵まれて、子育てについてはもちろん、幅広い知識を得ることができて幸せでした。

ドロップインセンターに関わることで、人間として成長できたと思っています。

大変だったのはやはり家庭との両立です。「子どもが学校から帰ってくる時は家にいた方がいいのでは」「もっと家にいて子どもとゆっくり過ごした方がいいのでは」と悩みました。

Q. コロナ禍で大変な時期に直面していますが、そのような中でも最近、何か感銘を受けたことがありましたら教えてください。

A. ベルギーで100歳の女性が新型コロナから回復して退院した、というニュースで花束をもってにこやかに笑う女性の姿に勇気をもらいました。

「どんな時もあきらめてはいけない」という事をあらためて教えられた気がしました。

Q. 今後、やりたいことや夢がありましたらお聞かせください。

A. 子育て中の方には笑顔で「がんばってますね」と声をかける、困っている方がいたらできる事をさりげなく手助けする、ということをして日常生活の中でずっと続けていきたいです。

Q. 最後にドロップインセンターの会員の皆様に向けてメッセージをお願いします。

A. 団体の立ち上げから関わってきた者として、ドロップインセンターが今のように幅広い事業を行うことができるような団体になったこと、そして信頼される団体になったことを誇らしく、うれしく思っています。

これもこれまで関わって下さったスタッフの方々や会員の皆様のお蔭だと思います。

これからも未永くドロップインセンターを支え、見守ってください。



3月16日(月)かのう児童クラブ・3月21日(火)旭町児童クラブにて、花束作り体験教室が開かれました。JA 宮崎経済連より花材をご提供いただき、生花店の方に直接教えてもらいながら、子どもたちが花束作りに挑戦しました！子どもたちと一緒に花束作りに参加した職員からは、

『地元宮崎でこんなにきれいな花が育てられている事を知る良い機会になった』・『初めての経験に、周りの子と助け合いながら一生懸命取り組んでいた』など、嬉しい声が沢山聞かれました。



～花を束ねて、おうちで飾ろう～



身近な花に触れ、植物との関わり方を学ぶ素晴らしい『花育』の機会になったのではないのでしょうか☆

